

海外でのキャリア形成と米国での格差の現状

アメリカ国立がん研究所(NCI)でご活躍中の武部直子先生によるご講演

11月17日(水)21時~ZOOM開催

臨床医・研究者としてアメリカで生き残るには、具体的にどのようなキャリアパスがあるのか、米国でのwomen of colorのキャリアアディベロップメントのハードル等、参加者の皆さんと共有・議論いただきます。また、現在の仕事を通してアメリカで医師・研究者として働く魅力についてもお話しいたします。

併せて、具体的な海外留学の方法として、NCIが海外の医学生向けに提供している4-12週間のローテーションプログラムや、血液腫瘍内科医を目指す人向けのフェローシッププログラムをご紹介します。



講師: 武部直子

アメリカ国立がん研究所(NCI) Developmental Therapeutics Clinic Associate Chief, Head, Translational Science Section of Early Phase Clinical Trials Program, Division of Cancer Treatment and Diagnosis

講師略歴

1988年、弘前大学医学部卒。横須賀米海軍病院インターン、慶応義塾大学内科初期研修を経て、1991年より渡米。
1991-94年 Children's Hospital In San Francisco (UCSF Affiliated hospital)/ California Pacific Medical Center 内科研修
— American Board of Internal Medicine 米国内科専門医ボード取得

1994-97年 Memorial Sloan Kettering Cancer Center Hematology/Oncology Fellow 米国内科血液学専門医ボード取得、
米国内科腫瘍学専門医ボード取得

1995-99年 同研究所 Department of Molecular Pharmacology and Experimental Therapeutics ポスドク

1999-2006年 メリーランド大学医学部内科 Assistant Professor 骨髄幹細胞移植 Attending Physician

2007-17年 NIH、国立がん研究所(NCI)、Cancer Therapy Evaluation Program Senior Investigator

2018年より現職



講演ファシリテーター: 仲野 寛人

血液・免疫・感染症内科学

総合内科専門医・リウマチ専門医

現在米国国立衛生研究所 (National Institutes of Health)

留学中

お申込み: 先QRコードよりご登録ください。

前日までにZoomURLをお送りします。

お問合せ: 医学教育推進課医学国際化等担当(田澤・胡子)

045-352-7968

ycumedgl@yokohama-cu.ac.jp

